

器官制御医学講座 泌尿器科学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	寺田 直樹	令和4年4月-
准教授	伊藤 秀明	平成18年7月-(平成27年4月-現職)
講師	福島 正人	平成28年6月-(平成31年4月-現職)
講師	多賀 峰克	平成18年4月-平成21年3月、平成23年4月-平成25年1月、平成25年4月-(令和4年4月-現職)
助教	稲村 聡	平成19年4月-平成22年3月、平成24年4月-平成27年3月、平成28年5月-(平成29年4月-現職)
助教	関 雅也	平成19年4月-平成22年3月、平成24年4月-(平成28年4月-現職)
助教	堤内 真実	平成22年4月-平成25年3月、平成27年4月-(令和2年4月-現職)
助教	小林 久人	平成23年4月-平成26年3月、平成28年4月-(平成31年4月-現職)
助教	品川 友親	令和4年4月-現職

2. 研究概要

研究概要

当領域は以下の研究部門による研究を継続実施している。

- 1) 尿路性器悪性腫瘍部門
- 2) 腎臓部門
- 3) 下部尿路機能部門
- 4) 性機能部門
- 5) 排尿ケア部門

1) 尿路性器悪性腫瘍部門

1-1) すべての糖鎖は血管内皮細胞に発現するE-セレクトインとの接着能を有し転移に関与することが示唆されている。尿路上皮がんに関する研究では、糖鎖であるE-selectinが腎癌細胞に発現し、予後不良のマーカーになることを示した。また同様にsialyl Lewis x/aも治癒切除を施行された淡明腎細胞がん患者の予後予測因子になるとも報告した。また、JCOGという全国の癌臨床研究グループに属し、転移性前立腺癌に対する局所放射線治療の有用性を検証する前向き試験に参加している。

2) 腎臓部門

2-1) 抗コリン薬は夜間多尿を改善することを報告してきた。抗コリン薬の他にもメラトニンや睡眠薬でも尿量を減少させる可能性を報告してきたが、そのメカニズムとして膀胱上皮を介する水吸収は否定的である。尿管に直接カニューレーションする方法で腎尿量を測定し、腎のアクアポリン2の免疫染色やcAMPの測定を行って、抗コリン薬が腎集合管のアクアポリン2を介するメカニズムを介して尿を吸収することを報告した。この結果はScientific Reportに投稿し受理された。

3) 下部尿路機能部門

3-1) 2型糖尿病モデルとしてOLETFラットを用いて、前立腺重量に対するphosphodiesterase 5 inhibitor (PDE5i)の影響について検討を行った。その結果、OLETFラットには前立腺血流障害が存在し、PDE5iはその血流障害を改善すること、またPDE5iは血流を改善し前立腺重量の減少をもたらすことが解明された。そのメカニズムとして血流改善に伴い前立腺組織内の炎症性サイトカインの減少やIGFなどの増殖因子の低下を介して前立腺重量の減少を惹起した可能性があることを解明した。その結果をLife Scienceに投稿し、受理された。

3-2) 前立腺肥大症において高内皮細静脈(HEV)様血管が炎症細胞浸潤に関与しているが、この血管数は下部尿路機能障害の臨床パラメーターとよく相関する。さらに、生活習慣が前立腺の慢性炎症に及ぼす影響についても研究を行っている。特に喫煙・禁煙期間が前立腺の慢性炎症の程度と関係することを解明した。その結果をInternational Journal of Urologyに投稿し受理された。

3-3) 福井県下の高齢者施設との共同研究として、フレイルと下部尿路機能障害、特に過活動膀胱との関連が深いことを解明した。また高齢者の高血圧に投与される降圧薬や睡眠薬などは抗コリン作用があり、近年抗コリン負荷をして認知機能との関連が注目されている。施設入所高齢者の抗コリン負荷をそれぞれ算定し、下部尿路機能との関連を解析した。その結果、降圧薬を投与している高齢者では排尿効率が悪いこと、すなわち残尿が多いことが解明され報告した。

3-4) 夜間頻尿は睡眠障害、夜間多尿、膀胱蓄尿障害が原因であるが、どの因子がより強く関与するかはわかっていない。われわれは睡眠に関する質問票とIPSSなどを用いて年代別の夜間頻尿に影響する因子を解明した。60代、70代では睡眠がより強く影響した。さらに、体動を感じて夜間の覚醒時間を評価するwearable watchを用いて、適切な就寝時刻を設定するプログラムを開発し、設定した時刻に就寝することで、夜間頻尿が改善することを示し、各学会で報告した。

3-5) ボツリヌス毒素の膀胱壁内注入療法が、難治性過活動膀胱や神経因性膀胱患者の尿失禁に対して有効であり、安全であることを検証する臨床治療の統括医師として参加した。その有効性及び安全性についてInternational Journal of Urologyに投稿し受理された。2020年よりボツリヌス療法が全国で開始された。

5) 排尿ケア部門

5-1) 排尿自立指導が保険収載され、慢性期病院を中心に尿路管理法の見直しが行なわれると期待されるが、福井大学附属病院の関連病院を中心に、泌尿器科が常勤ではない施設でも、不必要な尿道カテーテル抜去を系統的に行えるように、看護師主導で行えるクリティカルパスを作成し、カテーテル留置率を下げることが否かについて、prospectiveな研究を行なった。その結果、パスに従い、残尿量をパラメーターとして効率よくカテーテルが抜去できることが解明された。

5-2) 長期尿道カテーテル留置患者における様々なトラブル対策を行っている。具体的には、カテーテル閉塞の危険因子解析、閉塞に対するクランベリージュースの予防効果、カテーテルの形状や材質による閉塞度合の差、などについて、関連病院の要介護度の高い患者を対象に調査を行っている。

キーワード

- 1) 泌尿生殖器の腫瘍、糖鎖、オートファジー
- 2) 泌尿生殖器の疾患の治療、腎移植、分子メカニズム
- 3) 泌尿生殖器の疾患、下部尿路機能、メタボリック症候群、生活習慣病、過活動膀胱、夜間頻尿、ガイドライン
- 4) 泌尿生殖器の疾患、男性更年期障害、下部尿路機能障害
- 5) 排尿自立指導、長期留置、排尿ケア、感染、閉塞

業績年の進捗状況

特色等

- 1) 糖鎖マーカー、オートファジーに注目し、泌尿生殖器癌の研究を行っている。
- 2) 夜間頻尿診療ガイドライン(第2版)、過活動膀胱診療ガイドライン(第3版)の作成委員として活動した。
- 3) 当部門の特色として性行動障害などの性機能障害を下部尿路機能障害、睡眠障害あるいは心理的ストレスとの関連からアプローチする手法で研究している。
- 4) 現在、寝たきり患者が増加している我が国においては、長期尿道カテーテル留置中の患者に起こるカテーテル閉塞は大きな問題となっている。常勤泌尿器科医がいない病院、施設において、その対処法、あるいは不必要なカテーテルを抜去する適切な方法には、まだ確立されたものはなく、大学と民間病院とが協力しながら画期的な取り組みである。
- 5) フレイル高齢者の下部尿路機能障害を多面的に解析し、新たな治療に繋げる試みを行っている。
- 6) 睡眠障害は高齢者に多いが、夜間頻尿の発生に強く関わっている。睡眠の質を改善することが夜間頻尿の改善に寄与するという仮説をたて前向き研究を行っている。

本学の理念との関係

超高齢化社会を迎え、泌尿器科疾患を有する患者も急増している。尿路性器悪性腫瘍に限らず下部尿路機能障害、性機能障害などQOL疾患に対しても世界的水準での研究・教育を推進し、地域・国・国際社会に貢献できる人材の育成と独創的な研究を行っている。特に産学官連携を推進し、広く社会に貢献していると自負している。

3. 研究実績

区分	総数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2016～2021年分	2022年分	2016～2021年分	2022年分
和文原著論文	12	0		
英文論文	ファーストオーサー	2	22.809(22.809)	9.676(9.676)
	コソボ デュング オサー	9	16.345(16.345)	9.676(9.676)
	その他	6	21.662(15.737)	29.986(29.986)
	合計	18	44.471(38.546)	39.662(39.662)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

- 2241045** Terada N, Sawada A, Kawanishi H, Fujimoto T, Magaribuchi T, Chihara I, Hashimoto K, Sakurai T, Shimizu Y, Uegaki M, Nakashima M, Narita S, Kubota M, Yamada Y, Tohi Y, Okabe K, Yatsuda J, Kamoto T: The efficacy of sequential therapy with docetaxel and cabazitaxel for castration-resistant prostate cancer: A retrospective multi-institutional study in Japan, *Int J Urol*, 30(2), 227-234, 202302, DOI: 10.1111/iju.15097, #2.896
- 2241046** Otsuka I, Terada N, Iwamoto H, Kobayashi T, Kamoto T: Comparison of Safety and Efficacy in Endoscopic Combined Intrarenal Surgery Performed in the Lateral Decubitus and Galdakao-modified Supine Valdivia Positions, *Urology*, 172, 49-54, 202302, DOI: 10.1016/j.urology.2022.10.018, #2.633
- 2241047** Nagai T, Terada N, Fujii M, Nagata Y, Nakahara K, Mukai S, Okasho K, Kamiyama Y, Akamatsu S, Kobayashi T, Iida K, Denawa M, Hagiwara M, Inoue T, Ogawa O, Kamoto T: Identification of the $\alpha 2$ chain of interleukin-13 receptor as a potential biomarker for predicting castration resistance of prostate cancer using patient-derived xenograft models, *Cancer Rep (Hoboken)*, 6(2), e1701, 202302, DOI: 10.1002/cnr2.1701
- 2241048** Hasegawa T, Oyama N, Kasamatsu H, Chino T, Taga M, Hasegawa M.: Intertriginous erythema associated with enfortumab vedotin, a nectin-4-targeting antibody-drug conjugate, in a case with metastatic urothelial cancer: Immunohistochemical evidence for molecular-targeted eruption., *J Dermatol.*, 49(12), e453-e454, 202212, DOI: 10.1111/1346-8138.16567, #3.468
- 2241049** Kimura H, Mizuno K, Shiota M, Narita S, Terada N, Fujimoto N, Ogura K, Hatano S, Iwasaki Y, Hakozaiki N, Ishitoya S, Sumiyoshi T, Goto T, Kobayashi T, Nakagawa H, Kamoto T, Eto M, Habuchi T, Ogawa O, Momozawa Y, Akamatsu S: Prognostic significance of pathogenic variants in BRCA1, BRCA2, ATM and PALB2 genes in men undergoing hormonal therapy for advanced prostate cancer, *Br J Cancer*, 127(9), 1680-1690, 202211, DOI: 10.1038/s41416-022-01915-2, #9.082
- 2241050** Okabe KO, Terada N, Shirakawa T, Onizuka C, Kimura T, Yamashita Y, Otuka I, Ueno T, Nagano M, Takamori H, Mukai S, Kamoto T: Efficacy and Safety of Radium-223 for Castration-resistant Prostate Cancer With Bone Metastasis Before and After Docetaxel, *Anticancer Res*, 42(10), 4981-4987, 202210, DOI: 10.21873/anticancer.16005, #2.435
- 2241051** Narita S, Terada N, Nomura K, Sakamoto S, Hatakeyama S, Kato T, Matsui Y, Inokuchi J, Yokomizo A, Tabata KI, Shiota M, Kimura T, Kojima T, Inoue T, Mizowaki T, Sugimoto M, Kitamura H, Kamoto T, Nishiyama H, Habuchi T: Japanese Urological Oncology Group: Cancer-specific and net overall survival in older patients with de novo metastatic prostate cancer initially treated with androgen deprivation therapy, *Int J Urol*, 29(10), 1147-1154, 202210, DOI: 10.1111/iju.14938, #2.896
- 2241052** Fukuokaya W, Kimura T, Komura K, Uchimoto T, Nishimura K, Yanagisawa T, Imai Y, Iwatani K, Ito K, Urabe F, Tsuzuki S, Kimura S, Terada N, Mukai S, Oyama Y, Abe H, Kamoto T, Azuma H, Miki J, Egawa S: Effectiveness of pembrolizumab in patients with urothelial carcinoma receiving proton pump inhibitors, *Urol Oncol*, 40(7), 3460-3460000000, 202207, DOI: 10.1016/j.urolonc.2022.02.020, #2.954
- 2241053** Shiota M, Takamatsu D, Kimura T, Tashiro K, Matsui Y, Tomida R, Saito R, Tsutsumi M, Yokomizo A, Yamamoto Y, Edamura K, Miyake M, Morizane S, Yoshino T, Matsukawa A, Narita S, Matsumoto R, Kasahara T, Hashimoto K, Matsumoto H, Kato M, Akamatsu S, Joraku A, Kato M, Yamaguchi T, Saito T, Kaneko T, Takahashi A, Kato T, Sakamoto S, Enokida H, Kanno H, Terada N, Suekane S, Nishiyama N, Eto M, Kitamura H: Japanese Urological Oncology Group: Radiotherapy plus androgen deprivation therapy for prostate-specific antigen persistence in lymph node-positive prostate cancer, *Cancer Sci*, 113(7), 2386-2396, 202207, DOI: 10.1111/cas.15383, #6.518
- 2241054** Hisato Kbayashi, Xinmin Zha, Keiko Nagase, So Inamura, Minekatsu Taga, Yoshitaka Aoki, Hideaki Ito, Osamu Yokoyama: Phosphodiesterase 5 inhibitor suppresses prostate weight increase in type 2 diabetic rats, *Life Sciences*, 298, 120504, 20220601, DOI: 10.1016/j.lfs.2022.120504, #6.78
- 2241055** Saikawa Shiori, Taga Minekatsu, Matsuda Yasushi, Suzuki Koji, Yamaguchi Aina, Fukushima Mana, Imamura Yoshiaki, Ito Hideaki, Yokoyama Osamu: Primary Ewing's sarcoma/primitive neuroectodermal tumor of the kidney and its clinical features, *IJU CASE REPORTS*, 5(5), 330-333, 20220520, DOI: 10.1002/iju5.12471 (症例報告)

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

- 2241056** Okumura Y, Nobukawa S, Ishibashi T, Takahashi T, Katsuki M, Kakitsuba T, Tanaka N, Fukiage Y, Kabuto T, Kobayashi H, Tsutsumiuchi M, Shinagawa T, Seki M, Inamura S, Taga M, Fukushima M, Kosaka H, Yokoyama O, Terada N: Personalized bedtime determined by a wearable device improves nocturia: A prospective interventional crossover study., *EAU2023*, 202303
- 2241057** Okumura Y, Kobayashi H, Tsutsumiuchi M, Seki M, Inamura S, Taga M, Fukushima M, Ito H, Yokoyama O, Terada N: Anticholinergic burden decreases voiding efficiency in the elderly patients., *IGS2022*, 202209
- 2241058** Okumura Y, Fukushima M, Aoki Y, Ito H, Yokoyama O: Which affects nocturnal frequency most: Urgency or sleep disorders?, *EAU2022*, 202207

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

業績一覧

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

2241059 寺田直樹：福井大学泌尿器科の変革と人財育成に一心，医療情報誌 医心，88(88)，16-20，202208

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

2241060 寺田 直樹：進行性前立腺癌治療の未来を見据えて～局所治療の位置付け～，第36回日本泌尿器科内視鏡・ロボティクス学会総会，神戸市，20221111

2241061 寺田 直樹：mCRPC治療の現状と今後の展望，日本泌尿器腫瘍学会第8回学術集会，神戸市，20221022

2241062 寺田 直樹：去勢抵抗性前立腺癌治療の変遷と今後の展望，第74回西日本泌尿器科学会総会，北九州市，20221105

c. 一般講演（口演）

2241063 稲村 聡、品川 友親、勝木 舞結、大久保 温、田中 伸樹、吹上 優介、兜 貴史、奥村 悦久、小林 久人、堤内 真実、関 雅也、多賀 峰克、福島 正人、伊藤 秀明、小林 基弘、横山 修、寺田 直樹： $\alpha 1$ 遮断薬と 5α 還元酵素阻害薬の長期投与による前立腺の慢性炎症に対する影響の検討，第29回日本排尿機能学会，札幌市，20220903

2241064 奥村 悦久、小林 久人、堤内 真実、関 雅也、稲村 聡、多賀 峰克、福島 正人、小坂 浩隆、横山 修、寺田 直樹：睡眠の質の低下と尿意切迫感はどちらが夜間頻尿の予測因子か？，第35回日本老年泌尿器科学会，甲府市，20220611

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

2241065 兜 貴史、稲村 聡、小林 久人、査 新真、福島 正人、多賀 峰克、関 雅也、品川 友親、堤内 真実、奥村 悦久、吹上 優介、田中 伸樹、大久保 温、勝木 舞結：2型糖尿病モデルにおける膀胱上皮由来ATPの放出亢進に伴う膀胱収縮障害に対するtadalafilの効果と作用機序に関する検討，第29回日本排尿機能学会，札幌市，20220901

2241066 奥村 悦久、石橋 知明、信川 創、高橋 哲也、小林 久人、堤内 真実、品川 友親、関 雅也、稲村 聡、多賀 峰克、福島 正人、小坂 浩隆、横山 修、寺田 直樹：Wearable端末を用いて算出した適正な就寝時刻により夜間頻尿は改善する，第29回日本排尿機能学会，札幌市，20220903

f. その他

2241067 寺田 直樹：ホルモン治療未施行進行前立腺癌に対する薬物療法の”静”と”動”，第72回日本泌尿器科学会中部総会，和歌山市，20221007

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

2241068 寺田 直樹：CRPC治療Up-To-Date～RWEから見えること～，Prostate Cancer Seminar in Tokai，名古屋市，20221202

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

2241069 寺田 直樹：進行性前立腺癌の各フェーズにおける治療戦略，Kanazawa Prostate Cancer Seminar，金沢市，20221130

2241070 稲村 聡：夜間頻尿の診断・治療～当院の治療経験も踏まえて～，第34回北陸排尿障害研究会，金沢市，20220710

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

- 2241071 寺田 直樹: 進行前立腺癌ゲノム医療UPDATE, Prostate Cancer Conference 2022、進行前立腺癌ゲノム医療UPDATE, Web開催, 20221003
- 2241072 寺田 直樹: 転移性前立腺癌及び去勢抵抗性前立腺癌治療の未来を見据えて, 鹿児島 前立腺がんWebセミナー, 鹿児島市, 20230127
- 2241073 寺田 直樹: 転移性前立腺癌及び去勢抵抗性前立腺癌の未来を見据えて, 前立腺癌治療フォーラムin紀の国, 和歌山市, 20230318
- 2241074 関 雅也: 「女性の尿失禁と骨盤臓器脱」～当科でのロボット支援腹腔鏡下仙骨靭帯固定術について～, 福井女性尿路生殖器疾患研究会, 福井市, 20221222
- 2241075 寺田 直樹: 転移性前立腺癌および去勢抵抗性前立腺癌の未来を見据えて, 第2回京都南部前立腺癌セミナー～病連携を目指して～, 京都市, 20221006
- 2241076 寺田 直樹: 転移性前立腺癌に対する一次治療のエビデンス, 泌尿器科・婦人科Webセミナー, Web開催, 20221014
- 2241077 寺田 直樹: 転移性前立腺癌及び去勢抵抗性前立腺癌治療の未来を見据えて, Cutting Edge of Urology 2023, 東京, 20230317
- 2241078 寺田 直樹: 進行前立腺癌ゲノム医療update, 前立腺癌個別化医療セミナーin多摩, Web開催, 20220517
- 2241079 寺田 直樹: 進行前立腺癌ゲノム医療UPDATE, 山梨前立腺癌検診フォーラム, 甲府市, 20220804
- 2241080 寺田 直樹: 進行性前立腺癌の各フェーズにおける治療戦略, ニュベクオ2周年ゾーフィゴ6周年発売記念講演会in滋賀, 草津市, 20220623
- 2241081 寺田 直樹: 進行前立腺癌ゲノム医療update, 前立腺癌個別化医療セミナーin広島, 広島市, 20220602
- 2241082 寺田 直樹: 転移性前立腺癌及び去勢抵抗性前立腺癌治療の未来を見据えて, 鹿児島 前立腺がんWebセミナー, Web開催, 20220826

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

- 2241083 稲村 聡: LUTS診療の質の向上を目指して, 第60回福井泌尿器科フォーラム, 福井市, 20230119
- 2241084 寺田 直樹: 進行前立腺癌ゲノム医療UPDATE, AstraZeneca Urological Seminar, 大阪市, 20221207
- 2241085 堤内 真実: 腹腔鏡下仙骨靭帯固定術前後の過活動膀胱の評価, 福井女性尿路生殖器疾患研究会, 福井市, 20221222
- 2241086 寺田 直樹: MCRPC治療に関するreal world evidence, Bayer Urology WEB Conference, Web開催, 20230227
- 2241087 多賀 峰克: 前立腺癌治療における個別化治療について, 福井県泌尿器科医会講演会, 福井市, 20230216
- 2241088 寺田 直樹: 進行性前立腺癌の各フェーズにおける治療戦略, 進行性前立腺癌治療懇話会, Web開催, 20230203
- 2241089 寺田 直樹: 進化を続ける前立腺がんの診断・治療, がん診療最前線, 福井市, 20221106
- 2241090 寺田 直樹: 転移性前立腺癌治療戦略Update, Cutting Edge Urology Seminar in Daimonji, 京都市, 20220610
- 2241091 寺田 直樹: 転移性前立腺癌および去勢抵抗性前立腺癌の未来を見据えて, 2022年前期 リサーチミーティングInつくば, つくば市, 20220702
- 2241092 寺田 直樹: 進行前立腺癌ゲノム医療UPDATE, Prostate Cancer Personalized Medicine Update, Web開催, 20220719
- 2241093 寺田 直樹: 最新知見に基づいた転移性前立腺癌治療戦略, Prostate Cancer Treatment in TOKATSU, 福井市, 20220422
- 2241094 寺田 直樹: 前立腺癌の薬剤治療について, 第2回Young Urologists Clinical Conference、前立腺癌の薬剤治療について, 京都市, 20220603
- 2241095 寺田 直樹: 転移性前立腺癌に対する局所治療の位置づけ, Update onProstate Cancer 2022 in Western, Web開催, 20220613
- 2241096 寺田 直樹: 転移性前立腺癌に対する全身治療と局所治療, J&J WEBセミナー 前立腺癌の集学的治療戦略, Web開催, 20230323

業績一覧

- 2241097 寺田 直樹: 転移性前立腺癌および去勢抵抗性前立腺癌の未来を見据えて, 第25回YUS(Yushima Urological Seminar), 東京, 20221012
- 2241098 寺田 直樹: 転移性前立腺癌および去勢抵抗性前立腺癌の未来を見据えて, 南加賀医療圏 前立腺がんシンポジウム, 小松市, 20220928
- 2241099 寺田 直樹: 進行性前立腺癌の各フェーズにおける治療戦略, 進行性前立腺癌治療懇話会, Web開催, 20220805
- 2241100 寺田 直樹: CRPC治療Up-To-Date~RWEから見えること~, Fukui Prostate Cancer Seminar, Web開催, 20220921
- 2241101 多賀 峰克: 福井大学カバジキタキセル14例の使用経験, 福井県前立腺癌化学療法講習会, Web開催, 20220929
- 2241102 寺田 直樹: 転移性前立腺癌および去勢抵抗性前立腺癌の未来を見据えて, 6月福井県泌尿器科医会, 福井市, 20220616
- 2241103 寺田 直樹: 転移性前立腺癌~実臨床における薬剤切替への至適タイミングとは?~, Meet the Experts, Web開催, 20220617

f. その他

(C) 特許等

区分	内容 (発明の名称)	発明者又は考案者

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科 研 費 ・ 研 究 助 成 金 等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額 (配分額)
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額 (配分額)
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	microの解剖学的位置に注目した前立腺肥大症の炎症の病態の研究	稲村 聡		20190401-20230331	¥390,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	アンジオテンシン受容体拮抗剤による男性下部尿路症状改善の機序に関する探索	伊藤 秀明	小林 久人, 稲村 聡	20210401-20240331	¥1,040,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	腎アクアポリン分子をターゲットとした夜間多尿対策; 有効かつ安全な治療を目指して	横山 修	小林 基弘, 多賀 峰克	20200401-20230331	¥910,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	前立腺癌におけるHumanized HGF SCIDマウスを用いた新規治療の開発	寺田 直樹	賀本 敏行, 向井 尚一郎	20200401-20230331	¥1,170,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
受託研究	ヤンセンファーマ株式会社 (代理人: IQVIA サービシズ ジャパン株式会社)	日本の高リスク転移性ホルモン療法感受性前立腺癌患者の臨床転帰を観察するレジストリ試験 The Registry to Observe Clinical Outcomes of Patients with High-risk Metastatic Hormone-naive Prostate Cancer in Japan	関 雅也	20200901-20251231	¥2,189,000
受託研究	MSD株式会社	転移性腎細胞癌患者における治療パターン、治療アウトカム及び医療資源利用状況に関する観察研究; Patterns of treatment and Outcomes Evaluation in Metastatic Renal Cell Carcinoma Patients in Japan (POEM)	稲村 聡	20210614-20261231	¥495,000
受託研究	特定非営利活動法人J-Cap研究会	前立腺がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究	多賀 峰克	20161201-20290331	¥576,500

(B) 奨学寄附金

受入件数	4
受入金額	¥13,409,952

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
その他の研究集会	主催者	第59回福井泌尿器科フォーラム	20221124-20221124	福井市
その他の研究集会	主催者	第58回福井泌尿器科フォーラム	20220728-20220728	福井市

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本性機能学会	代議員	寺田 直樹
日本泌尿器病理研究会	委員	寺田 直樹
日本泌尿器腫瘍学会	代議員	寺田 直樹
泌尿器科分子・細胞研究会	代議員	寺田 直樹
日本内視鏡外科学会	委員	寺田 直樹
日本癌学会	委員	寺田 直樹
日本泌尿器内視鏡学会	委員	寺田 直樹
日本小児泌尿器学会	委員	寺田 直樹
米国泌尿器科学会	委員	寺田 直樹
日本排尿機能学会	委員	寺田 直樹
日本癌学会	一般会員	伊藤 秀明
日本癌治療学会	一般会員	伊藤 秀明
日本泌尿器科学会	一般会員	伊藤 秀明
日本内視鏡外科学会	一般会員	伊藤 秀明
日本泌尿器内視鏡学会	代議員	伊藤 秀明
日本Endourology・ESWL学会	一般会員	伊藤 秀明

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
招待・特別講演等	Fukui Urological Cancer Conference	寺田 直樹
招待・特別講演等	第32回日本性機能学会中部総会	寺田 直樹
一般講演	福井県泌尿器科医会講演会	寺田 直樹
一般講演	GU Cancer Conference in福井	寺田 直樹
一般講演	福井女性尿路生殖器疾患研究会	寺田 直樹
一般講演	福井県泌尿器科医会講演会	寺田 直樹
一般講演	泌尿器疾患医療連携セミナー	寺田 直樹
一般講演	Next generation of Young urologist Meeting	多賀 峰克
一般講演	第58回福井泌尿器科フォーラム	寺田 直樹
一般講演	第34回北陸排尿障害研究会	寺田 直樹
一般講演	Taxane Management Webinar	寺田 直樹
一般講演	福井県泌尿器科医会5月例会	寺田 直樹
シンポジウム等	イクスタンジWEBシンポジウム	寺田 直樹
一般講演	第59回福井泌尿器科フォーラム	福島 正人

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長(主査)・委員の別	氏名	査読編数
----------	-------	--------------	----	------

(E) その他